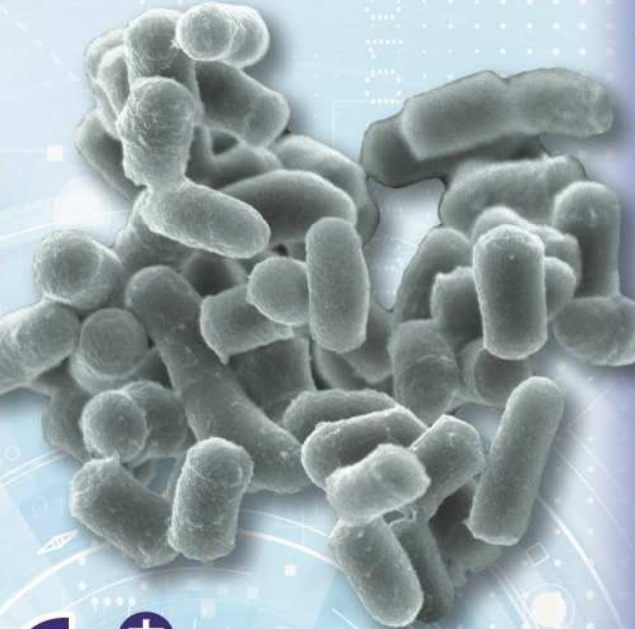
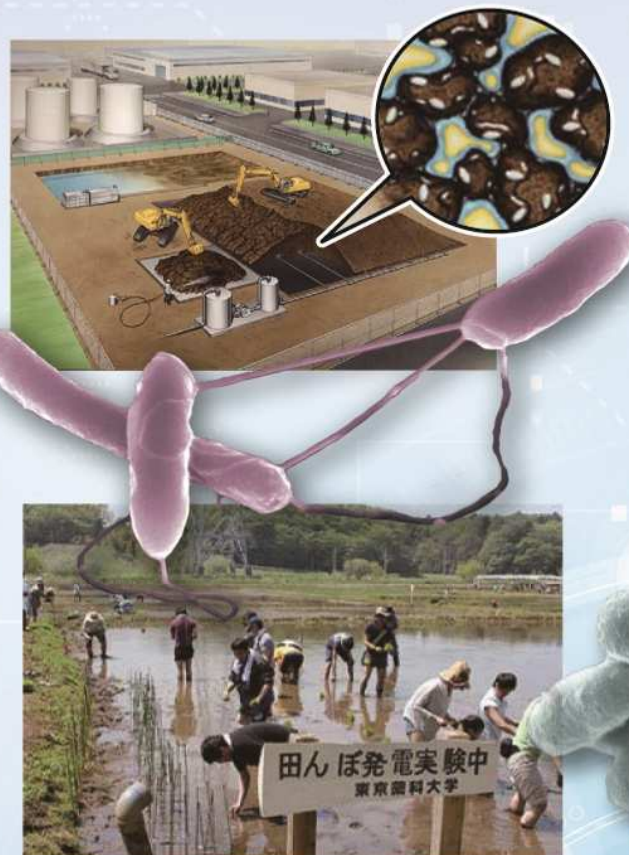


微生物を用いた環境配慮型技術の研究開発 微生物とともに創る明るい未来



要申込
参加費
無料

2018年 **7月26日** 木 13:30~17:30
沖縄県立博物館・美術館 3階 講堂

プログラム

主催者挨拶 13:30 ~ 13:35
歴比久 義 (沖縄県 科学技術振興課課長)

事業概要説明 13:35 ~ 13:45
大城 祐貴 (一般社団法人トロピカルテクノプラス)

[環境・エネルギー] 研究分野テーマ紹介 13:45 ~ 14:25

研究テーマ①
「低コスト排水処理技術により畜産業の持続的発展に貢献 (県産微生物電気化学システム (BES) による窒素・リン除去を可能とした養豚排水処理技術の研究開発)」
風岡 雅輝 (一般財団法人 沖縄県環境科学センター)
貝沼 真美 (沖縄科学技術大学院大学 生物システムユニット)

研究テーマ②
「沖縄の微生物が汚れた土をよみがえらせる (バイオレメディエーションによる油汚染土壌・地下水の浄化技術研究開発)」
古家 克彦 (一般財団法人 沖縄県環境科学センター)

基調講演 14:25 ~ 16:50

講演①「発電菌が創る未来のエコ社会」
渡邊 一哉 (東京薬科大学 生命科学部 教授)
(15:25 ~ 15:40 休憩)

講演②「微生物を用いる環境浄化技術 (バイオレメディエーション技術の開発と実用化)」
高畑 陽 (大成建設株式会社
技術センター都市基盤技術研究部環境研究室 主席研究員)
(16:40 ~ 16:50 休憩)

パネルディスカッション 16:50 ~ 17:30

ファシリテーター: 原山 重明 (中央大学 研究開発機構 機構教授)
パネリスト: 貝沼 真美、風岡 雅輝、高畑 陽、田邊 俊朗 (沖縄工業高等専門学校)、渡邊 一哉、他 (五十音順)

閉会
岩本 竜吾 (一般社団法人トロピカルテクノプラス 代表理事)

お問い合わせ



一般社団法人トロピカルテクノプラス [担当者: 廣瀬、宮城、横山]
〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎 12-75 沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター内
E-mail: seicho@ttc.co.jp TEL: 098-982-1100 FAX: 098-982-1101

主催: 沖縄県・一般社団法人トロピカルテクノプラス

シンポジウム開催概要

本事業は、成長が期待される「健康・医療」、「環境・エネルギー」等の分野について、県内大学等を含む産学官が連携したリーディングプロジェクトを創出し、成長分野の持続的な発展を推進することを目的としています。

今回、本シンポジウムでは「環境・エネルギー」分野に関するテーマを取り上げています。渡邊一哉先生には“発電菌”や“発酵菌”などに着目した、省エネルギー型排水処理技術として期待される“微生物燃料電池”に関する研究開発と活用についてご講演頂きます。高畑陽先生には、微生物を用いて汚染した土壌や地下水を浄化する実用化技術を中心に、熱帯地域等における実証試験例などについてもご講演頂きます。また、パネルディスカッションでは、原山重明先生をファシリテーターに交え、これらの環境浄化技術が産業活性化の鍵となるにはどうすべきか議論します。

講師略歴



東京薬科大学 生命科学部 教授

渡邊 一哉 先生

東京工業大学理工学研究科修士課程修了後、金沢大学にて学位（理学博士）取得。東燃（現在のJXTG エネルギー）での研究活動を経て、海洋バイオテクノロジー研究所微生物利用領域長、科学技術振興機構のERATO「橋本光エネルギー変換システムプロジェクト」の微生物グループリーダー、東京大学先端科学技術研究センター特任准教授を歴任した後、2011年5月から現職。

“発電菌”や“発酵菌”等に着目し、“微生物燃料電池”や“メタン発酵”に関する研究開発をされています。2015年バイオインダストリー協会賞や“Microbes & environments”誌の2013年度の論文賞等受賞されています。Science等へ数多くの論文を報告されており、サイエンスZERO等マスメディアで取り上げられるなど、その活躍の場を広げられています。



大成建設株式会社 技術センター都市基盤技術研究部環境研究室 主席研究員

高畑 陽 先生

東北大学大学院土木工学修了後、1993年大成建設株式会社に入社。海洋バイオテクノロジー研究所への出向後に、1998年から微生物による土壌・地下水の浄化技術の開発に従事。国内で初めて微生物による石油汚染土壌の浄化事業を実用化し、2000年土木学会技術開発賞。2007年水環境学会技術賞。国内最大規模のベンゼンを対象とした原位置バイオレメディエーション技術の開発・実用化に対し環境バイオテクノロジー学会技術賞、他7件の受賞など多くの受賞歴を経て、現在も現場の第一線でご活躍されています。これまでに100万m3以上の汚染土壌を微生物で浄化した実績があり、実用化に向けた産官学の取り組みにも長年携わっています。インドネシア・沖縄などの熱帯・亜熱帯地域における油汚染土壌に対する研究開発事業も経験されています。

ファシリテーター



中央大学 研究開発機構 機構教授

原山 重明 先生

東京大学理学部生物学科卒業、東京大学理学部助手、スイス・ジュネーブ大学医学部医学部助教・講師・准教授・特任教授、(株)海洋バイオテクノロジー研究所釜石研究所所長、独立行政法人 製品評価技術基盤機構生物遺伝資源開発部門部門長を歴任した後、中央大学理工学部教授を経て2007年4月から現職。

2010年には、「環境汚染の影響」、「環境浄化」、「石油微生物学」の分野で、論文が最も多く引用された20人の研究者の中の一人に選ばれた実績もあり（第3位）、世界におけるバイオレメディエーション分野の先駆的な研究者です。

【宛先】 一般社団法人トロピカルテクノプラス FAX 送信先 098-982-1101

このままご記入の上、FAX して下さい（送信票不要）

e-mail でお申し込みの場合、seicho@ttc.co.jp（件名は「成長分野シンポジウム申し込み」とし、以下項目をご記入下さい。）

平成30年度成長分野リーディングプロジェクト創出事業

シンポジウムお申込書

日時 2018(平成30)年7月26日(木) 13:30～17:30

会場 沖縄県立博物館・美術館 3階 講堂

貴社名		
ご住所		
ご連絡先	TEL:	FAX:
出席者 ご所属・ご氏名		